

# 第9回近畿サロンの報告

十二月十一日(土曜日) 正午に大阪厚生会館二階の「六甲の間」へ懐かしい顔が集まりました。

毎回ご出席頂いている相沢青志先生ご夫妻をはじめ、常連の方の顔が見えました。名古屋からも尾原さん達が駆けつけてくれました。事務局からは和久井会長、理事の藤田喬代さん、藤沢勝一郎さんが参加しました。また、前会長の太田四郎さんが、直江津高校で英語の先生をしていたころの教え子の方四名が参加され、総勢三十一名になりました。

会は、尾崎副会長の挨拶に続き、新しく世話役になった野口庄平さんの挨拶がありました。野口さんは子安の出身で、上越市の野口副市長はお兄さんにあたります。

和久井会長の挨拶があり、太田前会長の挨拶と乾杯で開宴となりました。

初めての方もおられたので、全員が自己紹介をする中で、お酒も進み会話も弾み、事務局が持参した五本の雪中梅は全部空になりました。引き続き恒例のカラオケ大会となり、玄人はだしの名歌手の共演となりました。大阪の方は元気な上に歌がうまいですね。

最後は恒例の「高田の四季」を全員で合唱してお開きとなりました。

終了後、太田さんは教え子の方と、一部の有志は佐藤恵美子さんのお店「のんでこくつてこ」などで二次会を楽しみました。

皆さん、来年も元気にお会いしましょう。

(編集部)



相沢青志先生



尾崎副会長



